

Harmony

ハーモニー

大原綜合病院
開放型病院登録医会報

Vol.132 2016. 4

Ohara General Hospital


平成28年
4月1日～

法人名称および病院ロゴマーク 変更のお知らせ

一般財団法人大原綜合病院は、平成28年4月1日より、法人名称を「一般財団法人 大原記念財団」と変更いたしました。これに伴い、各施設の名称が下記のとおり変更となります。

また、ロゴマークについてもデザインを一新し、施設統一で使用することとなります。

名称変更、ロゴマーク変更後も、職員一丸となりより良い医療の提供に取り組んでまいりまいる所存ですので、引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

法人の名称		
一般財団法人	大原記念財団	
施設名称		
一般財団法人	大原記念財団	大原綜合病院
一般財団法人	大原記念財団	大原医療センター
一般財団法人	大原記念財団	清水病院
一般財団法人	大原記念財団	大原健康クリニック
一般財団法人	大原記念財団	大原訪問看護ステーション
一般財団法人	大原記念財団	大原看護専門学校
一般財団法人	大原記念財団	エンゼル保育所
ロゴマーク	ロゴマーク新デザインコンセプトについて	
	<p>①シンボルカラーは、これまで親しんできた「緑（グリーン）」を基調として引き継ぐ。</p> <p>②大原の頭文字（アルファベットの「O(オー)」）をモチーフとし、「野兎病」の発見の功績や、福島市民に親しまれている「雪兎」に因んで、中央に『兎』をイメージしたデザインとする。</p> <p>③旧ロゴマークの縦と横が交わるデザインを踏襲し、当財団に関わるすべての人達の『結束』『信頼』『融和』をもって伸展していくことを希求し、表現している。</p>	

第4回 大原総合病院 TQM 発表大会 開催

平成 28 年 3 月 5 日（土）、福島テルサにおいて「第4回 大原総合病院 TQM 発表大会」を開催しました。

今回は9チーム（右一覽参照）の参加があり、約半年間にわたり取り組んできた医師を交えた多職種連携による業務改善の成果を発表しました。

最優秀賞は、子どもの入院時の食事について「入院生活に楽しみを～体調不良時でも食欲が出る食事の工夫～」をテーマに活動した「みんなの良い食プロジェクト（子ども編）」が受賞し、11月に岡山県倉敷市で開催される「医療の改善活動」全国大会に大原総合病院代表として発表を行うことが決定しました。

◆参加チーム一覽（発表順）

No.	施設	チーム名
1	本院	“O・MO・TE・NA・SHIのこころ”推進隊
2	本院	みんなのよい食プロジェクト（子ども編）
3	清水	チャレンジ・クッキング
4	本院	LET'S モニター診断
5	本院	Smart pass
6	本院	TDM-S 11
7	本院・セカ・清水	バイオハザードドリターンズ
8	センター	大原 Safety レンジャーズ
9	本院・訪看	退院助っ人隊 ふたたび参上！



TQMとは...

Total Quality Management の略で、全員・全体(Total)で、医療・サービスの質(Quality)を、継続的に向上させる(Management)ことです。小集団で活動を行い、組織横断的に取り組みながら、全体最適化と組織の活性化を目指します。

また、現場では「質の向上」、「業務の標準化」を目標とし、PDCAサイクルを行いながら継続的に改善を行います。特に日々変化する医療情勢への対応や患者さんの満足向上のため、「改善」を繰り返しながら、医療の提供の在り方を考えていきます。

お知らせ

診療情報提供書様式ダウンロード配布の開始について

法人名称と様式の一部を変更した診療情報提供書の様式を、当院ホームページからダウンロード配布いたします。

開始時期は4月上旬を予定しておりますので、ぜひ多くの先生方にご使用いただきたくご案内申し上げます。

なお、従来の複写式の手書き用紙も引き続きご使用いただけますので、併せてご案内いたします。



第4回 看-看連携会議 開催

平成28年2月26日（金）コラッセふくしまにて「第4回 看-看連携会議」が開催されました。東北の21の医療・福祉関係機関、大原総合病院職員合わせて138名の参加がありました。2部構成の講演で、第1部は基調講演として「地域包括ケアシステムの構築に向けて～高齢者を地域で支えるための課題と対策～」と題して講師に阿部俊子先生（衆議院議員）をお迎えし、ご講演をいただきました。

第2部はパネルディスカッションを行い、座長を目黒 文子様（福島県立医科大学附属病院副院長兼看護部長）、會澤 英子様（福島赤十字病院看護部長）のお二人が務め、地域診療、行政、介護老人施設、病院入退院支援の立場から、それぞれ廣川 健先生（きらり健康生活協同組合須川診療所統括所長）、大久保 淳子様（福島市健康福祉部 健康推進課長）、平塚千鶴子様（聖・オリーブの郷本館 副施設長）、清野伊



奈美様（一般財団法人大原総合病院入退院支援室室長兼副看護部長）が講演を行った後、地域で患者を支えるための課題や実際の取り組みについて討論しました。

最後に、佐藤 勝彦先生（一般財団法人 大原総合病院副理事長兼統括院長）の指定発言があり、大変充実した会となりました。



立柱式を挙行いたしました

平成28年3月10日（木）大原総合病院移転新築工事「立柱式」が建設現場内にて財団役員ほか施工・協力業者さま約60名が参列し挙行いたしました。

建設地中央部に1本目の柱が立ち、平子理事長・佐藤副理事長兼統括院長が柱周りに塩をまいて鉄骨建方工事の安全と根元を固めて建物の永遠堅固を願い執り行われました。

3ヵ月後の6月中旬には全ての鉄骨が組み上がります。

平成30年1月開院に向け予定通り工事が進められております！





— Information —

小児病棟のプレイルームにて当院の管理栄養士より入院中のお子さんと親御さんに「ジュースの砂糖ってどれくらい?」をテーマにお話しをしました。

お子さんが飲むようなジュースや炭酸飲料、スポーツドリンクに含まれている実際の砂糖の量を見てビックリ!! 砂糖の体に与える影響など分かりやすくお話ししました。

ペットボトルで手軽になんでも飲める時代ですが改めて考えて頂く良い時間となりました。



平成 28 年 2 月 16 日(火)本院・第 3 会議室にて平成 27 年度中堅職員研修成果プレゼンテーションが行なわれました。本研修は株式会社 クリフ 代表取締役 石山純恵様を講師にお迎えし、看護師を含む多職種の中堅職員 19 名が活動を行ってきました。

平子理事長挨拶の後、各研修者から取り組んできた課題・成果のプレゼンテーションが行われ、活発な意見交換が行われました。最後に修了式が行われ、研修修了証が交付されました。



平成 28 年 2 月 20 日(土)21 日(日)に、本院第 3 会議室において、第 3 回、第 4 回 大原 ICLS 講習会を開催しました。各日 6 名の 12 名が受講しました。

「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語です。「突然の心停止に対する最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。

受講者は、様々なシナリオの心停止の患者に対しチームワークを図りながら蘇生を試みました。全員が見事に対応し、各人に終了証が交付されました。



平成 28 年 2 月 27 日(土)、ホテルサンルートプラザ福島において第 5 回小うさぎ会総会が開催されました。小うさぎ会は当院で 2 年間の初期研修を修了した研修医 O.B・O.G.と在籍の研修医が親睦を深め、臨床研修の発展と連携の強化を目的として年 1 回開催しています。

会半ばには、会員の近況報告などが行われ、仲間との再会と、後輩・先輩との交流を楽しみ、会は盛会裏に終了しました。



東日本大震災から 5 年を迎えた 3 月 11 日(金)、本院において防災(避難)訓練を実施しました。

今回は日中時間帯における震度 6 強の大規模地震発生を想定し、「災害対策本部への通報」、「非常用放送」、「屋内避難」、「衛星携帯電話及び EMIS」の使用訓練と手順を確認しました。

今般の訓練には当院の災害医療支援(D-MAT)も参加し、災害時に冷静な判断で患者さんを安全に避難させられるように、真剣な面持ちで訓練に臨みました。



大原綜合病院の理念 人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために常に一歩先行く医療を探究し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

制作 大原綜合病院 地域連携相談室
発行者 一般財団法人大原記念財団 大原綜合病院
理事長 平子 健
電話 024(526)0371 ダイヤルイン
FAX 024(526)0935
代表 024(526)0300 内線(1157)
住所 福島市大町 6 番 11 号

大原綜合病院職員行動規範 10 カ条

私たちは、

1. 医療安全を確立し、安心と信頼を獲得します。
2. 命の尊厳を深く理解し、患者さまの権利を尊重します。
3. 優しさを持ち、気づきの医療を実践します。
4. 人間性豊かな医療人となるよう、常に自己研鑽します。
5. 新しいことへの挑戦し、質の高い医療を創造します。
6. 医療人としての誇りを持ち、如何なる時も最善を尽くします。
7. 医療情報の共有と活用を促進し、得られた情報は厳格に管理します。
8. 地域社会に支えられていることを認識し、医療連携を推進します。
9. 相互に敬意を払い、連携を密にして組織的に行動します。
10. 未来への発展のために、健全経営を目指して努力します。